

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

| NO | 会計 | 款 | 項 | 目 | 施策 | 事務事業名 | 担当課 | 主要 施策 対象 | うち多 額の 経費 対象 | ①事務事業の概要 ②課題 | 27年度決 算額[千 円] | 28年度決 算額[千 円] | 総合評価 | ①評価の理由 ②平成29年度に取組む改革・改善内容 | 29年度予 算額[千 円] |
|----|----|----|---|---|--------------------|------------------|-------|----------------|-----------------------|---|---------------------|---------------------|--------|---|---------------------|
| 1 | 一般 | 10 | 1 | 3 | 132生きる力を育てる義務教育の充実 | 外国語指導助手に要する経費 | 学校教育課 | | | ①外国青年を招致して中学校の外国語教育の充実を図るとともに、小学校の外国語活動などを通して、日本と外国の相互理解と国際化を進める。また、外国の文化に触れることを通して、国際社会に生きる児童生徒を育てる。 ②学級担任の教師または、外国語を担当する教師の指導力の育成。小中連携 | 31,315 | 34,987 | 6精査・検証 | ①教育委員会指導訪問において、小学校で外国語活動の授業展開を必ず実施し、教員及び外国語指導助手の指導力の向上を図った。 ②外国語活動及び外国語の担当教師、外国語指導助手合同の研修会を実施し、さらなる小学校・中学校の授業改善を図っていく。 | 33,851 |
| 2 | 一般 | 10 | 1 | 3 | 132生きる力を育てる義務教育の充実 | 教職員の研修に要する経費 | 学校教育課 | | | ①市内の小中学校の教職員の資質、能力向上と専門性の確立を図るため、研修、研究の支援を行う。 ②研修、研究の内容の精査を図り、授業改善に繋げていく。 | 824 | 845 | 6精査・検証 | ①研修、研究を充実させるためには、研究経費や研修会に講師招聘し、質の高い研修、研究を行っていく必要がある。 ②研究指定校以外の小中学校には校内研修会講師招聘にかかる謝礼金を確保する。 | 1,044 |
| 3 | 一般 | 10 | 1 | 3 | 132生きる力を育てる義務教育の充実 | 中学生ワカタネ派遣に要する経費 | 学校教育課 | | | ①姉妹都市ワカタネ市の交流を深める。また、中学生に広い視野をもち異文化を理解するとともに、外国語能力の基礎や表現力の育成を図る。 ②派遣生徒の意識の向上は図れるが、報告会以後の更なる意識の高揚の育成 | 0 | 1,962 | 3休止 | ①ワカタネ市への海外派遣は3年毎のため平成29年度は行わない。 ②次回、平成31年度の派遣に向けて、派遣生徒の人材育成と小中連携の外国語教育の推進をする。 | 0 |
| 4 | 一般 | 10 | 1 | 3 | 132生きる力を育てる義務教育の充実 | 教育指導に要する経費 | 学校教育課 | | | ①鎌ヶ谷市学力調査、学校図書館司書の全校配置、理科支援員の小学校への配置、心の教育講演会、教育相談員の配置等を行う。 ②学力向上への取組、いじめ防止基本方針の策定 | 48,858 | 47,590 | 6精査・検証 | ①学力向上に向けた取組が各校で学校全体の取組として表れてきた。分析項目、方法の共通化により、授業改善策の情報交換の内容が充実してきている。 ②平成28年度小学校に配置した理科支援員による、小学校の理科教育の更なる充実を図っていく。 | 39,277 |
| 5 | 一般 | 10 | 1 | 3 | 132生きる力を育てる義務教育の充実 | 小中学校体育文化活動に要する経費 | 学校教育課 | | | ①豊かな人間性を育むために、体育文化活動で全国・関東大会等に出場した児童生徒の参加費等の助成を行った。 ②児童生徒の体育文化活動の向上を図るために、引き続き大会等の出場の経費軽減を図る。 | 6,132 | 5,404 | 6精査・検証 | ①豊かな人間性を育むために、体育文化活動で全国・関東大会等に出場した児童生徒の参加費等の助成を行った。 ②児童生徒の体育文化活動の向上を図るために、引き続き大会等の出場の経費軽減を図る。 | 5,733 |
| 6 | 一般 | 10 | 1 | 3 | 132生きる力を育てる義務教育の充実 | 学校運営に要する経費 | 学校教育課 | ○ | | ①小中学校入学予定者が入学の前年に入学を希望する学校を選択できる学校選択制度を実施する。 ②制度に対する周知徹底を目指しているが、毎年一部の保護者による誤解がみられる。 | 21,312 | 21,685 | 6精査・検証 | ①制度の周知をしたことで、申請期間内の運用を滞りなく行った。 ②学校用務員の退職者が出た学校について、新たな人員配置に代わり、民間委託により人件費の抑制を図る。 | 22,180 |
| 7 | 一般 | 10 | 1 | 3 | 132生きる力を育てる義務教育の充実 | 少人数教育推進に要する経費 | 学校教育課 | ○ | | ①市内小中学校に1名ずつ少人数教育指導教員(きりり先生)を配置し、きめ細かな学習指導を行う。 ②効果的な少人数指導については、教員とともに授業研究を図っていく必要がある。 | 23,405 | 23,729 | 6精査・検証 | ①学力向上のためにもきめ細やかな指導を行うことは重要で在り、効果的な実施がなされてはいるがさらに指導方法等について向上を図っていく必要があるため。 ②少人数指導の質の向上を図るため、きりり先生研修会のみならず各種研修会でも効果的な実施について引き続き指導支援していく。 | 27,173 |
| 8 | 一般 | 10 | 1 | 3 | 132生きる力を育てる義務教育の充実 | 学校地域支援に要する経費 | 学校教育課 | | | ①市内小中学校に地域住民によるボランティアを募り、学校教育活動を支援していく。 ②ボランティアの公募は、各学校で行っており十分な成果をあげている。 | 5,195 | 5,062 | 6精査・検証 | ①学校支援地域本部事業は、現在8校で学校のボランティア活動が充実している。 ②学校支援地域本部事業の内容の更なる充実を図り、学校と地域ボランティアをつなぐコーディネーターを活用した事業に広げていく。 | 5,503 |

| NO | 会計 | 款 | 項 | 目 | 施策 | 事務事業名 | 担当課 | 主要 施策 対象 | うち多 額の 経費 対象 | ①事務事業の概要 ②課題 | 27年度決 算額[千 円] | 28年度決 算額[千 円] | 総合評価 | ①評価の理由 ②平成29年度に取組む改革・改善内容 | 29年度予 算額[千 円] |
|----|----|----|---|---|--------------------|-----------------|-------|----------------|-----------------------|---|---------------------|---------------------|--------|--|---------------------|
| 9 | 一般 | 10 | 1 | 3 | 132生きる力を育てる義務教育の充実 | 特別支援教育推進事業 | 学校教育課 | ○ | ○ | ①市内小中学校に各1名(大規模校2名)特別支援教育推進指導教員(ほほえみ先生)を配置し、きめ細かな教育支援を行う。 ②対象となる児童生徒一人一人の多様なニーズに応じたきめ細やかな支援・指導のための時間の確保が課題である。 | 28,857 | 30,821 | 6精査・検証 | ①特別な支援を要する児童生徒の増加と個々の特性に応じた教育的ニーズの高まりにより、保護者の期待と信頼が大きい。 ②特別支援教育推進指導教員(ほほえみ先生)の研修の充実と、心理発達相談員による迅速かつ専門的な指導・助言を行う。 | 35,507 |
| 10 | 一般 | 10 | 1 | 3 | 132生きる力を育てる義務教育の充実 | 小中学校コンピュータ等整備事業 | 学校教育課 | ○ | ○ | ①市内小中学校の児童生徒のコンピュータやインターネットの基礎的な理解と活用を図るため、全校のパソコン教室をはじめとするコンピュータ等を整備し、情報教育環境を整備する。 ②平成28年度コンピュータリニューアル後の様々なシステムの運用調整の初期不具合が課題である。 | 96,431 | 108,855 | 1終了 | ①全小中学校14校のパソコンのリニューアルを完了したため。 ②小中学校コンピュータリニューアル後の校務システム及び学習の効果的運営の指導を行う。 | 0 |
| 11 | 一般 | 10 | 1 | 4 | 132生きる力を育てる義務教育の充実 | 心身障がい児の教育に要する経費 | 学校教育課 | | | ①学級、学校での安全確保のため、介助員を配置する。保護者の経済的負担軽減のため必要な援助を行う。 ②対象となる児童生徒の増加傾向が続いており、介助員の数の確保と各学校・保護者との調整が課題である。 | 54,666 | 54,957 | 6精査・検証 | ①インクルーシブ教育システムの構築に向け、個々の多様なニーズへの柔軟で適切な支援・対応が求められるため。 ②様々なケースに対応するうえで、合理的配慮による介助員の増員及び人材の確保、また施設面での充実をきめ細かに図る。 | 60,664 |
| 12 | 一般 | 10 | 2 | 2 | 133児童・生徒の健康と安全の確保 | 要保護・準要保護に要する経費 | 学校教育課 | | | ①経済的に就学困難な児童生徒の保護者に対して就学援助を行う。 ②経済的困窮で就学困難な児童生徒が義務教育を受ける機会均等につながる。 | 41,705 | 42,143 | 6精査・検証 | ①義務教育の機会均等を図るため、継続的に行う事業であり、保護者への周知徹底を行う必要があるため。 ②小学校入学にかかる保護者の負担軽減のため、入学準備学用品費を小学校入学前に支給できるよう、要綱等の改正を行う。 | 49,299 |
| 13 | 一般 | 10 | 5 | 1 | 133児童・生徒の健康と安全の確保 | 学校保健事務に要する経費 | 学校教育課 | | | ①児童生徒等の心身の発達と健康を保持するため、環境衛生検査、健康診断、感染症の予防等を実施する。 ②検診項目の追加等による経費の増加や医師の確保が課題である。 | 32,552 | 35,019 | 6精査・検証 | ①対象の増加により時間や経費等に課題があることから、実施方法等について検討を行う必要があるため。 ②実施方法の見直しや対象者の精査により、時間や経費の削減を図る。 | 39,075 |
| 14 | 一般 | 10 | 5 | 1 | 133児童・生徒の健康と安全の確保 | 学校安全事務に要する経費 | 学校教育課 | | | ①日本スポーツ振興センターとの契約により、学校管理下における児童生徒等の災害に対して、給付を行う。 ②児童生徒の保護者に対し、学校の管理下における災害については他制度ではなく日本スポーツ振興センターを優先するよう周知徹底を行う必要がある。 | 9,962 | 9,791 | 6精査・検証 | ①児童生徒が安全な学校生活を送る上で、継続的に行う事業であり、保護者への周知徹底を行う必要があるため。 ②各学校の養護教諭と連携をとり、保護者への連絡や事務に遺漏の無いよう手続きを行う。 | 12,025 |
| 15 | 一般 | 10 | 5 | 1 | 133児童・生徒の健康と安全の確保 | 通学路安全対策事業 | 学校教育課 | ○ | ○ | ①第三次通学路安全対策推進行動計画に基づき、通学路の環境整備を行う。 ②信号機設置や歩道拡幅は中長期的な整備となり、まずは代替的な対策で対応せざるを得ない。また、防犯面の対策も必要となっている。 | 14,788 | 14,440 | 7拡充 | ①学校やPTAからの要望は多く、まずは可能な安全対策工事を実施し、中長期的な工事も行う一方、防犯面の対策として、新たに指定通学路への防犯カメラの設置や青色パトロールカーへのドライブレコーダーの設置を進めていく必要があるため。 ②平成28年度の要望に基づき、交通安全・防犯の両面から通学路の環境整備を行い、自転車講習会など安全指導面も継続して実施する。 | 15,000 |
| 16 | 一般 | 10 | 5 | 1 | 133児童・生徒の健康と安全の確保 | 児童生徒安全パトロール事業 | 学校教育課 | ○ | ○ | ①市内の指定通学路や公園などにおいて、不審者等に対する警戒パトロール及び下校時の見守りを行う。 ②下校時間帯の不審者情報も多く見られ、学校や青少年センターとも連携して、迅速に対応していく必要がある。 | 15,240 | 17,759 | 7拡充 | ①通学路の安全確保は、継続的に行う事業であり、各関連機関と連携し、新たに実施しようとする83+(はちさんプラス)運動の効果も見ながら、臨機応変に対応する必要があるため。 ②学校や地域、青少年センターと情報共有し、新たな見守り活動と合わせ、児童生徒のパトロールの充実を図る。 | 17,849 |

| NO | 会計 | 款 | 項 | 目 | 施策 | 事務事業名 | 担当課 | 主要 施策 対象 | うち多 額の 経費 対象 | ①事務事業の概要 ②課題 | 27年度決 算額[千 円] | 28年度決 算額[千 円] | 総合評価 | ①評価の理由 ②平成29年度に取組む改革・改善内容 | 29年度予 算額[千 円] |
|----|----|----|---|---|-------------------|-------------------|-------|----------------|-----------------------|--|---------------------|---------------------|--------|---|---------------------|
| 17 | 一般 | 10 | 5 | 3 | 133児童・生徒の健康と安全の確保 | 旧学校給食センター管理に要する経費 | 学校教育課 | | | ①旧学校給食センターの最小限の維持・管理を実施する。 ②解体まで引き続き最小限の維持・管理を実施する。 | 4,354 | 719 | 6精査・検証 | ①跡地の有効活用に向け、旧センターの解体に必要な作業を精査する。 ②旧センターの解体に向け、移行準備を進めていく。 | 1,460 |
| 18 | 一般 | 10 | 5 | 3 | 133児童・生徒の健康と安全の確保 | 学校給食運営に要する経費 | 学校教育課 | ○ | | ①市内小中学校14校に対し、安全で魅力ある学校給食を安定的に提供し、児童生徒の健康増進を図るとともに、食に対する理解を深める。 ②学校給食センターにおける食育の更なる充実と平成29年度に向けた食育アレルギー対応第2段階への準備期間として、学校と協議し進めていく。 | 850,886 | 903,222 | 7拡充 | ①食物アレルギー対応の除去食は7品目(卵・乳・落花生・えび・かに・小麦・そば)除去を目指しており、落花生を加え一段階進んだが今後更なる拡充が必要なため。 ②学校給食における地産地消(鎌産鎌消)食材の拡充および学校との食育連携の取り組みと、食物アレルギー対応の第3段階に向けた検討を進めていく。 | 855,030 |
| 19 | 一般 | 10 | 5 | 3 | 133児童・生徒の健康と安全の確保 | 旧学校給食センター跡地利活用事業 | 学校教育課 | ○ | ○ | ①新給食センターの稼働により、旧第一及び旧第二給食センター跡地について、新たな目的に活用するため建物解体に必要な業務を実施する。 ②解体工事設計や用地測量については、関係課と連携し事業を実施する。 | 0 | 6,091 | 7拡充 | ①旧学校給食センターの跡地を有効活用することは、市関与の妥当性や有効性は高く、市民サービスの向上が図れるため。 ②旧学校給食センター跡地の有効活用の推進を図るため、平成29年度に建物解体を実施する。 | 103,340 |